

平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月13日

上場取引所 東

上場会社名 ビリングシステム株式会社

コード番号 3623 URL <http://www.billingsystem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 江田 敏彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼管理本部長 (氏名) 住原 智彦

四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日

TEL 03-5501-4400

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	665	△5.3	74	57.2	71	49.8	17	—
24年12月期第2四半期	702	2.9	47	△53.9	47	△52.6	△2	—

(注) 包括利益 25年12月期第2四半期 20百万円 (—%) 24年12月期第2四半期 1百万円 (△98.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	11.89	—
24年12月期第2四半期	△1.42	—

(注) 当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第2四半期	4,815	1,413	28.6
24年12月期	5,144	1,393	26.4

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 1,376百万円 24年12月期 1,358百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年12月期	—	0.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。平成25年12月期(予想)の期末配当金については、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,340	0.2	101	—	97	—	37	—	25.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。1株当たり当期純利益金額については、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期2Q	1,550,300 株	24年12月期	1,550,300 株
② 期末自己株式数	25年12月期2Q	47,500 株	24年12月期	47,500 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期2Q	1,502,800 株	24年12月期2Q	1,502,800 株

当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。株式数は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(株式分割について)

当社は、平成25年3月7日に、株式の分割及び単元株制度の採用について決議し、平成25年7月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、単元株式数を100株といたしました。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) セグメント情報等	8
(7) 重要な後発事象	8

※当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページで記載する予定です。

- ・平成25年8月27日(火)・・・機関投資家向け決算説明会
- ・平成25年9月25日(水)・・・個人投資家向け決算説明会

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年の新政権発足以降、新政権の掲げる経済政策への期待感から円安・株高が進行し、景気回復への兆しが見えておりますが、欧州債務問題等、海外経済の減速懸念は解消されておらず、依然として先行き不透明な状態が続いております。

このような状況の下、当社グループは、既存顧客へのサービスの深堀と新規顧客獲得のため、積極的な営業を展開してまいりました。

業績全般につきましては、クイック入金サービスが証券市場の活況に起因し、第1四半期に引き続き好調に推移したことなどから、売上高は予算を上回りました。また利益率の高いクイック入金サービスが好調に推移したことに伴い、売上総利益も予算を上回ったことに加え、販売費及び一般管理費を削減し費用の抑制に努めた結果、営業利益・経常利益は予算を大幅に上回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高665,059千円（前年同四半期売上高702,411千円）、営業利益74,852千円（前年同四半期営業利益47,628千円）、経常利益71,340千円（前年同四半期経常利益47,629千円）となりましたが、四半期純利益は、第1四半期において、当社出資先が破産したことに伴い、投資有価証券評価損を特別損失として計上したため、17,869千円（前年同四半期純損失2,130千円）となっております。

なお、決済支援事業以外の事業の重要性が乏しくなったため、第1四半期連結会計期間よりセグメント情報ごとの業績の記載を省略しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は4,815,315千円（前連結会計年度末5,144,761千円）となり329,445千円減少いたしました。その主な要因は、現金及び預金132,272千円の減少、長期貸付金146,250千円の減少、投資有価証券50,000千円の減少等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は3,401,352千円（前連結会計年度末3,751,154千円）となり349,801千円減少いたしました。その主な要因は、預り金210,458千円の減少、短期借入金100,000千円の減少によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は1,413,962千円（前連結会計年度末1,393,606千円）となり20,355千円増加いたしました。その主な要因は、四半期純利益17,869千円を計上したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、前第2四半期連結会計期間末と比較して279,848千円増加し、残高は4,071,730千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とその要因は、以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得た資金は6,743千円（前第2四半期連結累計期間は710,093千円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益21,340千円、投資有価証券評価損50,000千円の計上及び貸付債権の減少327,969千円等の資金増加要因が、貸倒引当金の減少172,005千円及び預り金の減少210,458千円等の資金減少要因を上回ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得た資金は86,823千円（前第2四半期連結累計期間は2,062千円の支出）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入200,000千円等の資金増加要因が、定期預金の預入による支出100,000千円等の資金減少要因を上回ったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は125,840千円（前第2四半期連結累計期間は264,495千円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の純増減額100,000千円及び長期借入金の返済による支出25,800千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向等を踏まえ、平成25年5月13日に公表した「平成25年12月期の第2四半期累計期間及び通期（連結・個別）の業績予想の修正に関するお知らせ」を平成25年8月12日において修正しております。

詳細につきましては、平成25年8月12日公表の「平成25年12月期第2四半期累計期間及び通期（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社グループは、法人税法改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,604,003	4,471,730
売掛金(純額)	124,347	117,716
仕掛品	—	1,831
その他	243,219	98,590
流動資産合計	4,971,569	4,689,869
固定資産		
有形固定資産	12,880	14,117
無形固定資産		
のれん	8,985	6,739
その他	28,276	38,660
無形固定資産合計	37,262	45,400
投資その他の資産	123,048	65,927
固定資産合計	173,191	125,445
資産合計	5,144,761	4,815,315
負債の部		
流動負債		
買掛金	45,072	37,561
短期借入金	100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	51,600	51,600
未払法人税等	6,089	5,900
預り金	3,397,001	3,186,543
賞与引当金	—	4,345
その他	35,277	25,063
流動負債合計	3,635,041	3,311,015
固定負債		
長期借入金	113,100	87,300
資産除去債務	3,013	3,037
固定負債合計	116,113	90,337
負債合計	3,751,154	3,401,352
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,154,088	1,154,088
利益剰余金	253,275	271,144
自己株式	△48,720	△48,720
株主資本合計	1,358,643	1,376,512
少数株主持分	34,963	37,450
純資産合計	1,393,606	1,413,962
負債純資産合計	5,144,761	4,815,315

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	702,411	665,059
売上原価	449,628	417,201
売上総利益	252,782	247,857
販売費及び一般管理費	205,154	173,004
営業利益	47,628	74,852
営業外収益		
受取利息	931	1,098
貸倒引当金戻入額	178	—
その他	407	278
営業外収益合計	1,517	1,376
営業外費用		
支払利息	1,516	1,438
支払手数料	—	3,450
その他	0	0
営業外費用合計	1,516	4,888
経常利益	47,629	71,340
特別損失		
投資有価証券評価損	—	50,000
特別損失合計	—	50,000
税金等調整前四半期純利益	47,629	21,340
法人税、住民税及び事業税	6,172	4,878
法人税等調整額	40,078	△3,893
法人税等合計	46,250	984
少数株主損益調整前四半期純利益	1,378	20,355
少数株主利益	3,509	2,486
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,130	17,869

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,378	20,355
四半期包括利益	1,378	20,355
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,130	17,869
少数株主に係る四半期包括利益	3,509	2,486

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	47,629	21,340
減価償却費	7,852	7,284
のれん償却額	2,246	2,246
貸倒引当金の増減額(△は減少)	15,763	△172,005
受取利息	△1,217	△1,256
支払利息	1,516	1,438
投資有価証券評価損益(△は益)	—	50,000
売上債権の増減額(△は増加)	310,103	6,745
買取債権の増減額(△は増加)	390,634	—
たな卸資産の増減額(△は増加)	46,764	△1,831
仕入債務の増減額(△は減少)	△11,437	△7,510
未払金の増減額(△は減少)	△34,807	△16,345
預り金の増減額(△は減少)	102,825	△210,458
賞与引当金の増減額(△は減少)	667	4,345
その他	△157,147	327,352
小計	721,393	11,347
利息及び配当金の受取額	1,258	925
利息の支払額	△1,550	△1,307
法人税等の支払額	△11,007	△4,221
営業活動によるキャッシュ・フロー	710,093	6,743
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△100,000
定期預金の払戻による収入	—	200,000
有形固定資産の取得による支出	△2,055	△4,111
無形固定資産の取得による支出	△3,081	△9,694
敷金及び保証金の回収による収入	2,475	—
関係会社貸付金の回収による収入	300	330
従業員に対する長期貸付金の回収による収入	300	300
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,062	86,823
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△268,000	△100,000
長期借入れによる収入	72,000	—
長期借入金の返済による支出	△24,000	△25,800
配当金の支払額	△45,084	—
その他	588	△40
財務活動によるキャッシュ・フロー	△264,495	△125,840
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	443,536	△32,272
現金及び現金同等物の期首残高	3,348,346	4,104,003
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,791,882	4,071,730

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

当第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度まで、「決済支援事業」及び「ファイナンス支援事業」を報告セグメントとしてセグメント情報を開示しておりましたが、「決済支援事業」以外の事業の重要性が乏しくなったため、第1四半期連結会計期間より、セグメント情報の記載を省略しております。

これに伴い、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報の記載をのセグメント情報の記載を省略しております。

(7) 重要な後発事象

投資に係る重要な事象

当社は平成25年7月18日開催の取締役会において、MpayMe Limited社と資本提携を行うことについて決議し、平成25年7月31日に同社の普通株式を第三者割当増資にて取得しました。

1. 取得概要

取得する株式の種類：普通株式

取得する株式の数：787株

取得価額：2,000千円ドル

取得後の所有比率：2.66%

2. 損益に及ぼす重要な影響

本件に係る平成25年12月期の業績に与える影響は軽微であります。